



機械科生徒が国交省北陸信越運輸局海事部による 造船工学「船舶の総トン数」について講義を受けました。

新潟は海港 150 周年を迎える港町で、地域には海運造船分野の仕事があり、この分野について国土交通省北陸信越運輸局海事部様より松崎首席海事技術専門官様を講師として派遣いただき、平成 30 年 8 月 23 日（木）～24（金）に 4 回にわたって「船舶の総トン数」について、講義をしていただきました。

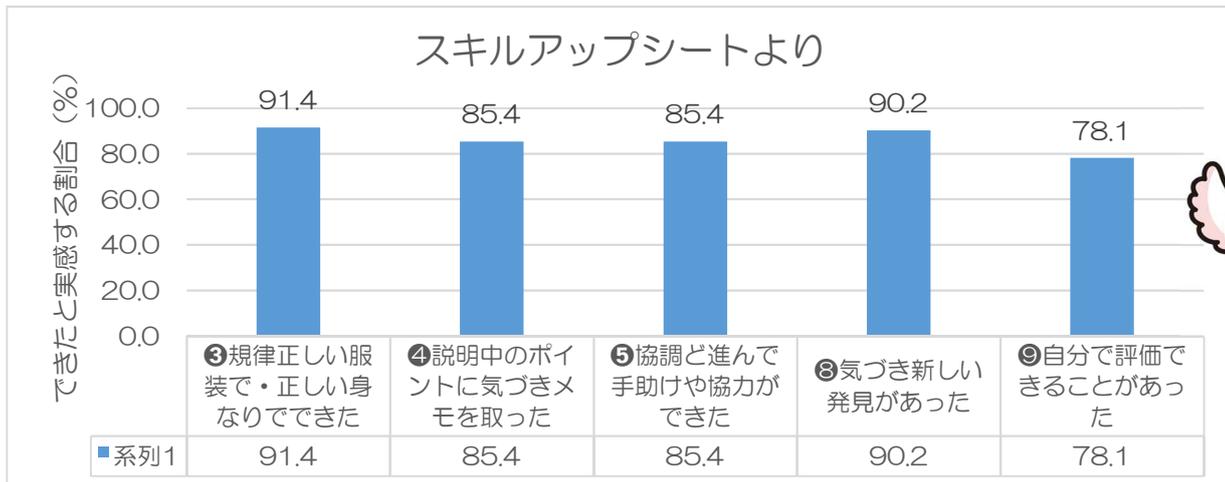


「講義風景」



「演習問題の解答説明」

講義内容は、アルキメデスの原理、トンの由来、国際総トン数、総トン数、シン普森第一法則演習と港湾関連の仕事について講義していただきました。



【スキルアップシートより】

- ・ 船には重さのトンだけではなく、容積や重量など数種類のトンがあることがわかった。
- ・ アルキメデスの原理を例にした話がわかりやすかった。
- ・ 船が浮く原理や「トン」についての由来など初めて聞く内容で面白かった。
- ・ 例題の回答のとき、最後まで答えを見ないで考えた。
- ・ 今後もしかしたら船舶関係の仕事に就くかもしれないので総トン数の計算ができるようになって良かった。
- ・ 船を作るには CAD データのチェックや実際に中に入ってチェックするなど大変だと言ったことがわかった。製作以外にも技術が必要だと思った。